

# 起業支援 産学動く

埼玉県内で産学による起業支援・育成施設が相次ぎオープンする。武蔵野総業(さいたま市、太田昇社長)は、JR埼京線北与野駅前の複合施設内に県内最大級のインキュベーション(ふ化)オフィスを開設。日本工業大学(宮代町)は、今年度から「産学連携起業教育センター」を設け、学内ベンチャー立ち上げを目指す。起業支援のすそ野が広がりをとった。

武蔵野総業が三日、北与野駅前の「アルーサ北与野」A館に設けた「Mio(ミオ)新都心」で、起業家やベンチャーなどに低料金でオフィスを貸し出し、創業を支援する。これまで県の「産学交流プラザ」(さいた

ろえ、月額が共益費や水

武蔵野総業  
日本工業大

オフィス低料金で  
学内V Bへ組織



武蔵野総業がJR北与野駅前(さいたま市)に設けた賃貸オフィス

## 埼玉県内の主な起業支援施設

名称(所在地)	運営者
IOC本庄早稲田(本庄市)	本庄国際リサーチパーク研究推進機構
モーターズ(さいたま市)	日本産業開発青年協会
案産館(さいたま市)	さいたま市産業創造財団
Mio埼玉県庁前(さいたま市)	武蔵野総業
産業技術総合センター(川口市)	埼玉県中小企業振興公社

道料金込みで三万八千円から。ビジネス交流会やランチセミナーなどを定期的に開き、入居企業を側面支援する。日本工業大では「起業とビジネスプラン」(新

会社設立の実際」という二科目を今年度から開講する。学生に起業の基礎知識とノウハウを習得させる狙い。七月には全学部・大学院生を対象とした「第一回ビジネスプランコンテスト」も実施。優秀者を米国に派遣して、本場のベンチャービジネスを視察研修する機会を与えるという。

埼玉県の上田清司知事は就任以来、「創業するなら埼玉県」を合言葉にベンチャー企業の振興を強化している。「一般的に創業から三年たつと、七割が失敗する」(太田社長)と言われるが、県内の産学官による起業家支援のスクラムは、そのリスクを減らす一助となる可能性もある。